

## あとがき

第74巻第4号は、巻頭言にはじまり、最終講義1編、特別講演1編、総説3編、ミニレビュー1編、症例報告1編、臨床懇話会1編および研究会報告1編とたいへん充実した内容となった。

広島大学の越智光夫学長の巻頭言は、「天才」に触れている。「天才」といわれる人は、若い時代にひとつのことを平均「1万時間」かけて継続的に努力・訓練してきた傾向があるという分析の紹介は興味深い。努力・工夫・研究の連続が「1万時間」あたりから、臨界点を超え、爆発的な化学反応を引き起こすのであろうか。ちなみにイチローは、試合前はもちろん、毎試合後、入念に素振りなどトレーニングを何十年も欠かさずしているという。確かに最初から「天才」が存在するわけでなく、努力を続けていくことによって「天才」へと近づいていくものなのかも知れないが、一般的に、その「続ける」がなかなかできないものである。医学研究

も同様と思われる。ひとつの研究テーマを、諦めずに、投げださずに、コツコツと日々取り組み続ける、これができるということ自体が、実はひとつの「才能」なのかもしれない。

最終講義を掲載された麻酔科学分野の大瀬戸清茂教授は誰もが知るペインクリニック界の泰斗であり、この世界の「名人」である。最終講義の内容は、教授ご自身の歩みや研究の紹介は抑え気味に、グローバルにペインクリニックの医学医療における位置づけおよび可能性について言及されている。個人的にはどのような経緯を辿って「名人」に達したのかを知りたいところである。巻頭言に記されている「医師に天才の1万時間ルールを適応してみると…」という話をお聞きできるのではと想像する。

(伊藤正裕 記)

当該雑誌に掲載された論文の著作権は本医学会に帰属する。  
また本書の無断複写（コピー）は著作権法上の例外を除き禁じられている。

平成28年10月25日 印刷  
平成28年10月30日 発行  
東京医科大学雑誌 第74巻 第4号  
発行者 鈴木 衛  
発行所 東京医科大学医学会  
(東京医科大学内)  
〒160-8402  
東京都新宿区新宿 6-1-1  
TEL 03 (3351) 6141 (代)  
FAX 03 (3351) 8181  
e-mail address  
igakukai@tokyo-med.ac.jp  
印刷所 笹氣出版印刷株式会社  
〒984-0011  
仙台市若林区六丁の目西町 8-45  
TEL 022 (288) 5555